



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成31年2月5日

上場会社名 株式会社 重松製作所
コード番号 7980 URL <http://www.sts-japan.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 重松 宣雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 坂野 信

TEL 03-6903-7535

四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	7,161	0.5	228		231		176	
30年3月期第3四半期	7,197	2.3	202		196		109	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	24.78	
30年3月期第3四半期	15.33	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
31年3月期第3四半期	11,309		4,485		39.7	630.77
30年3月期	11,966		4,784		40.0	672.80

(参考)自己資本 31年3月期第3四半期 4,485百万円 30年3月期 4,784百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期				10.00	10.00
31年3月期					
31年3月期(予想)				10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,800	0.0	200	118.3	200	90.1	120	16.0	16.87

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	7,200,000 株	30年3月期	7,200,000 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	88,606 株	30年3月期	88,570 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	7,111,402 株	30年3月期3Q	7,112,097 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料2ページ「経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(追加情報)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果、企業業績や雇用環境の改善等を背景に、引続き景気は緩やかな回復基調が続いているものの、米中貿易摩擦をはじめとする海外の政治、経済情勢の不確実性等の影響が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況にあります。

このような事業環境の中、呼吸用保護具全般の受注は堅調に推移したことから、売上高は前年同四半期ほぼ横ばいの71億61百万円となりました。受注内訳は、商品は好調に推移しましたが、製品は中国向けPM2.5対策用マスクの受注減もあり、前年同四半期比でやや伸び悩みとなりました。

一方、利益面では、製品売上減少の影響もあり、製品原価率が1ポイント以上上昇したこと等から、売上総利益は前年同四半期比3.0%減の20億41百万円となりました。

また、販売費及び一般管理費は、営業活動強化に伴う支出増はあったものの、人件費・諸経費削減に取り組んだことから、前年同四半期比1.6%減の22億70百万円となりました。

以上の結果、営業損失は、2億28百万円(前年同四半期は営業損失2億2百万円)、経常損失は、2億31百万円(前年同四半期は経常損失1億96百万円)、四半期純損失は、1億76百万円(前年同四半期は四半期純損失1億9百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は113億9百万円となり、前事業年度末に比べて6億56百万円減少しました。これは、流動資産が棚卸資産は増加したものの、受取手形及び売掛金、電子記録債権の減少等により5億52百万円減少、固定資産が投資有価証券の評価減少等により1億4百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は68億24百万円となり、前事業年度末に比べて3億57百万円減少しました。これは流動負債が支払手形及び買掛金、電子記録債務が減少したものの、短期借入金の増加等により91百万円増加、固定負債が長期借入金の減少等により4億49百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は44億85百万円となり、前事業年度末に比べて2億98百万円減少しました。これは四半期純損失、配当金支払いにより利益剰余金が減少したことによるものです。

この結果、当第3四半期会計期間末時点での自己資本比率は39.7%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月10日に公表しました業績予想につきましては、変更ございません。

今後の業績推移に応じて、修正が必要になった場合には速やかに発表させていただきます。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,435,018	1,219,484
受取手形及び売掛金	2,336,356	2,001,104
電子記録債権	539,726	313,843
商品及び製品	1,851,420	2,074,554
仕掛品	469,163	486,284
原材料及び貯蔵品	769,559	721,646
その他	52,445	84,148
貸倒引当金	△361	△40
流動資産合計	7,453,328	6,901,024
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,394,575	1,330,546
その他	2,051,438	2,104,620
有形固定資産合計	3,446,013	3,435,166
無形固定資産		
投資その他の資産	91,404	81,213
固定資産合計	975,832	892,500
資産合計	4,513,250	4,408,880
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	787,326	760,684
電子記録債務	2,067,604	1,649,710
短期借入金	1,300,000	2,100,000
1年内返済予定の長期借入金	520,000	440,000
賞与引当金	170,220	61,083
その他	414,204	339,357
流動負債合計	5,259,356	5,350,835
固定負債		
長期借入金	1,190,000	865,000
退職給付引当金	234,398	209,886
その他	498,262	398,541
固定負債合計	1,922,660	1,473,428
負債合計	7,182,016	6,824,264
純資産の部		
株主資本		
資本金	570,000	570,000
資本剰余金	272,577	272,577
利益剰余金	3,455,961	3,208,626
自己株式	△56,904	△56,938
株主資本合計	4,241,634	3,994,265
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	542,927	491,375
評価・換算差額等合計	542,927	491,375
純資産合計	4,784,561	4,485,640
負債純資産合計	11,966,578	11,309,904

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	7,197,342	7,161,682
売上原価	5,092,647	5,120,189
売上総利益	2,104,694	2,041,492
販売費及び一般管理費	2,306,999	2,270,385
営業損失(△)	△202,305	△228,892
営業外収益		
受取利息	242	210
受取配当金	12,512	15,626
受取ロイヤリティー	21,201	23,893
その他	11,242	11,085
営業外収益合計	45,198	50,815
営業外費用		
支払利息	14,152	13,123
売上割引	17,256	18,136
為替差損	—	6,918
リース解約損	—	9,903
その他	8,307	4,892
営業外費用合計	39,716	52,973
経常損失(△)	△196,823	△231,050
特別損失		
固定資産除却損	71	11,008
特別損失合計	71	11,008
税引前四半期純損失(△)	△196,894	△242,059
法人税、住民税及び事業税	4,392	4,350
法人税等の更正、決定等による納付税額又は還付税額	△32,119	—
法人税等調整額	△60,118	△70,188
法人税等合計	△87,845	△65,838
四半期純損失(△)	△109,048	△176,220

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。